

平成30年度
札幌保健医療大学
卒業証書・学位記授与式

学長挨拶

札幌保健医療大学
学長

小林 清一

2019年4月に稲葉前学長より学長職を引き継ぎました小林でございます。この4年間は学部長を仰せ付かっておりました。開学以来6年間に亘り稲葉前学長の下で大学としての基盤づくりが行われました札幌保健医療大学をさらに発展させるべく全力を尽くす所存でございますので、何卒宜しくご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年度、札幌保健医療大学は看護学科が開設7年目、栄養学科は3年目を迎えました。この7年目という数字は大学にとって重要な節目に当たります。学校教育法第109条では、すべての大学は7年以内毎に認証評価を受審する義務があると規定しています。すなわち、大学評価の判定基準に基づき、大学として相応しい水準にあるかどうかの判定が行われます。本来であれば本年2019年度が受審年となるはずでしたが、本学は昨年度に一年前倒しをして日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審致しました。その結果は、2019年3月20日に公表され、札幌保健医療大学は日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けました。本学が作成した自己点検評価書と日本高等教育評価機構による評価報告書は本学ホームページにて公開しております。

受審結果を待ちながら、看護学科第3期生103名の卒業証書・学位記授与式が2019年3月12日に挙行され、稲葉学長より最後の式辞が述べられました。授与式には多数の保護者の皆様、関係者の方々にご参列をいただきました。長くもあり短くもあった厳しい4年間の学業をご支援ご指導いただきましたことに心より感謝申し上げます。これにて看護学科は総計285名の卒業生を保健医療分野に送り出したこととなります。第3期生の看護師国家試験合格率は97.1%と3

年連続で全国平均合格率を上回り、保健師国家試験合格率は3年連続で100%を達成しました。キャリア開発委員会の教職員や4年次担任教員の努力もさることながら、3期生自身の集中力と医療専門職への強い意志など、人間力を如何なく発揮した結果と認識しています。卒業生の活躍の様子は、本学2号館と3号館の間の3階渡り廊下の掲示板に所狭しと掲示されておりますので、ご来学の際には是非ご覧いただきたいと思います。一方、栄養学科は完成年度前年の3年次となり、専門科目そして臨地実習と管理栄養士を強く意識する科目が目白押しです。本学出身の管理栄養士が、日本の超高齢社会を食と栄養で支え健康寿命の延伸に貢献するトップランナーとして、また、病院での栄養サポートチームの中核として、さらにはアスリートを支えるスポーツ栄養の専門家として活躍する日々を期待しております。

2019年度札幌保健医療大学入学式は4月3日に挙行され、看護学科第7期生104名、栄養学科第3期生36名、栄養学科3年次編入生4名の計144名を新入生としてお迎えし、本学の在籍学生数は総勢524名となりました。2学科の合同授業も始まり、新入生歓迎会、体育大会そしてサークル活動と大学生活に夢が膨らむ時期ですが、それと共に、学修面や友人関係、実習・演習での初体験など様々な悩みなども出始める時期でもあります。本学では学担任教員をはじめ全教員のオフィシアワー、学生相談室、健康管理室、学務課、学生の声ボックスなど多くの相談窓口をオープンし、早期の問題解決に向けた体制を整備すると共に、必要に応じて保護者の皆様とも連携して対応することにしております。

11月9日(土)には2年生を対象とするグローアップセレモニーを企画しており、また同日に全学年を対象とする保護者懇談会も開催の予定です。本学のユニークな取り組み、学業や就職状況などの情報提供に加えて、学担任教員との個別懇談による具体的な情報共有など学生支援への重要な機会となりますので、保護者の皆様には是非多くの方々に参加されますことを希望しております。今後共、札幌保健医療大学へのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

学長挨拶	1
3期生の卒業証書・学位記授与式	2
活動紹介	3
学内行事報告	4
栄養学科の取り組み	5
学生支援について	6
クラブ活動報告	7
国家試験結果・就職状況・入試結果報告	8



3期生の卒業証書・学位記授与式



卒業生謝辞

冬の寒さも和らぎ、優しい春の光が差し込み始めた今日の良き日に、私たちは晴れて卒業の日を迎えることができ、卒業生一同大変嬉しく思っています。

本日は、私たち卒業生のためにこのように盛大な卒業式を挙行して頂きまして、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびに、学長先生をはじめ、諸先生方、ご多忙にも関わらずご出席下さいました皆様に、卒業生一同心よりお礼申し上げます。先程は、数々のご祝辞と激励のお言葉を賜り、喜びとともに、私たちに与えられた使命と責任の重さを実感し、身が引き締まる思いです。

思い返せば4年前の春、私たちは看護の道に進む喜びと、これから始まる大学生活への期待と不安に胸を膨らませ、大学の門をくぐりました。同じ夢を抱く仲間たちが集まり、今日までの日々を歩み始めたことを昨日の日のように思い出します。

入学当時は長いと感じていた大学生活ですが、専門的な知識や技術など、多くのことを学び必死になった日々が過ぎ去るのは早く、本日で最後だということに驚きを感じてしまいますが、この4年間は貴重な思い出に満ちています。

入学して間もない頃は、緊張でお互いにぎこちなかった仲間たちとも、体育大会や大学祭などの行事やグループワークを通して、打ち解けるようになり、毎日の通学時間や休みに友人と他愛のない会話が笑いあったり、時には悩みを相談したり、これらは大学生活の中のかげがえのない時間でした。

講義や演習では、新たな知識に触れる喜びとともに、専門的な知識や技術に戸惑うことも多くありましたが、この先出会う患者様の役に立てようになりたいという思いで、一生懸命取り組んできました。臨地実習では、患者様とどう接していいか、自分に何ができるのかわからず、自分の無力さに涙したこともありましたが、しかし、諸先生方や指導者の皆様からの厳しくも熱意あるご指導から多くのことを学ぶとともに、患者様が温かく自分を受け入れて下さり、自分が行った看護で患者様の笑顔が見られるたびに、喜びを感じ、看護師になるという決意を強めることが出来ました。

課題研究では自分達が本当に興味のあることは何かを深く考える機会となりました。研究はスムーズには進まず、夜遅くまで先生に指導をしていただきました。この課題研究を通して得た探求心をもって、これから

は臨床の現場で、看護の学びを深めていきたいと思っています。

国家試験の勉強では、覚えなければならないことの多さに何度も挫けそうになりました。必死に勉強をしても、「本当に大丈夫だろうか」と不安ばかり感じてしまう日々でした。しかし、諸先生方から親身なご指導と激励を頂いたことや、朝早くから夜遅くまで一緒に勉強し、励まし合えた仲間たちがいたことで、国家試験本番まで努力し続けることが出来ました。

こうして大学生活を振り返ってみると、この4年間は決して楽な道ではありませんでした。何度も大きな壁にぶつかり、逃げ出したくなることもありました。それでも私がここまで逃げ出さずに頑張ってくることができたのは、多くの支えがあったからだと思います。同じ目標に向かって切磋琢磨し、嬉しいことも辛いことも分かち合えた仲間たちに出会えたことは本学で得た大きな財産となりました。そして何より、この4年間に患者様の存在なくして語ることはできません。自らの辛さを省みず、未熟な私たちを受け入れて下さいました。決して上手くはない援助を笑顔で喜んで下さり、励ましの言葉さえ頂くことがありました。困難な課題を前に挫けそうになった時にいつも思い出されるのは患者様の笑顔や温かい言葉でした。そのたびに私は、苦しくても諦めないで、最後まで精一杯の努力をしようという決意を固くすることができました。この先も困難な状況に直面することがあると思いますが、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを胸に、日々精進していきたいと思っています。

本日、私たち3期生は、この札幌保健医療大学を卒業します。今後、医療人として人の命を預かるという責任を担っていくことになります。本学で培った知識や技術、そして豊かな人間力をもって、どのような時も患者様の立場になって患者様に寄り添い、社会に貢献できる心豊かな医療人を目指し、その使命を果たせるよう努力いたします。

最後になりますが、今日まで熱心にご指導下さいました諸先生や、お世話になりました職員の皆様、温かく見守ってくれた家族に感謝申し上げますとともに、本学の今後益々のご発展をお祈りいたしまして、答辞とさせていただきます。

平成31年3月12日

卒業生代表 保健医療学部 看護学科 長岡 玲奈

卒業生コメント

大学生活を終え卒業を迎えるにあたり、安堵と4年間とともに過ごした友人や先生、その他多くの大学の方々との離れることに寂しさを感じています。

大学での4年間は授業、課題、実習、国家試験の勉強に追われ辛いときも多かったのですが、今思い返すと仲間や先生にも恵まれ充実した日々を送ることができたと感じています。私は、看護に加えて公衆衛生看護も学びました。住民の生活・健康を護るといふことの素晴らしさについて講義や地域実習を

通して触れることができました。公衆衛生看護実習では多くの素晴らしい住民との出会いがあり、充実した日々を送ることができました。実習で出会った住民との関わりは私にとって宝物であり、何事にも換えがたい貴重な経験を得ることができました。

私は春から保健師として実習でお世話になった町で働きます。大学で学んだ知識、技術を生かして専門職として地域の健康・生活を護ることができるように精進していきたいです。

山本 和希





活動紹介



入学式

2019年4月3日(水)に、札幌市中央区の「かでる2.7ホール(北海道立道民活動センター)」において、2019年度札幌保健医療大学入学式を挙行了しました。

今年度は、看護学科104名、栄養学科36名、栄養学科編入学生4名合わせて144名が入学し、新生活に向けて新たな一歩を踏み出しました。入学式終了後は保護者説明会と札幌保健医療大学後援会の定期総会を開催し、多数の保護者のみなさまにご出席いただきました。



新入生歓迎会

2019年4月9日(火)、学友会主催の新入生歓迎会を開催しました。学友会の学生が中心となり、入学して間もない新入生に向けて上級生が毎年企画しているものです。学友会長の挨拶から始まり、在学生からのサークル紹介や学年の垣根を越えたフリートークで交流を深めました。終了後もしばらく話に花が咲き、新入生にとってはこれからの学生生活に向けてのよいイメージ作りができたようです。



体育大会

2018年6月1日(金)に札幌市東区の札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム(愛称:つどーむ)のメインアリーナで体育大会を実施しました。学生一人ひとりが主体的に参加することで、協調性を深めることを目的として毎年行われています。

学科・学年、教職員を混ぜた全8チームの対抗戦で、「玉入れ」、「綱引き」、「なんでも走」、「ドッジボール」、「チーム対抗リレー」の競技が行われました。競技が進むにしたがい、段々とチームの絆と親睦が深まり、どの競技も白熱した大会となりました。

最後にMVP、学長賞、競技賞がそれぞれの学生に授与され、学科間、学年間の垣根を越えた交流を図ることができました。





学内行事報告



オープン キャンパスについて

2018年度のオープンキャンパスは、3月～10月にかけて計8回開催し、延べ583名（保護者含む）の方が参加しました。両学科ともに先輩とのトークや施設見学など、これまでのプログラムに加えて、それぞれの学科の特色を活かした体験演習を実施しました。栄養学科のみのオープンキャンパスも5月、7月、9月に行い、編入学入試説明会も同日に開催しました。とくに学生スタッフの印象が良く、参加者のみなさんに満足していただいています。

2019年度も昨年度同様のスケジュールで開催し、大学の魅力や特徴を体験してもらえるプログラムを企画する予定です。



祭 大学祭について

2018年10月28日（日）開催の第5回札幌祭は、「飛躍～あつまの未来を応援しよう!」のテーマのもと、北海道胆振東部地震の復興支援イベントを開催し、名産「ハスカップ」を通して厚真町の復興支援を行いました。学生出店の模擬店NO.1を決める「S-1グランプリ」や、サークルブースのほか、厚真町から山口農園様やJA厚真様が専用ブースを出展し、「ハスカップ」のクレープやスムージーの販売が行われました。また、「僕らの街からLIVE」として、江畑兵衛さん、広田周さん from TRIPLANE、河野太太さん、STVアナウンサー吉川典雄さんをお招きしてのチャリティライブとハスカップの植樹を行い、近隣地域の方も含めたたくさんの来場者に楽しんでいただきました。

今回の模擬店の売上の一部は厚真町の復興支援義援金として寄付しています。



グローアップセレモニー・保護者懇談会

2018年11月10日（土）に、看護・栄養学科2年次生を対象としたグローアップセレモニー（Grow-up Ceremony）を開催しました。

このセレモニーは、4年間の学修の節目として、各学科2年次生一人ひとりがこれまでの学修を振り返り、看護職および管理栄養士職への学びの意思を確認する目的として開催したものです。今年度は初めて、栄養学科2年次生も参加し、2学科合同の開催となりました。

記念講演には、旭川医科大学病院で看護部長兼副院長として長年にわたりご活躍され、現在は公益社団法人北海道看護協会会長を務めていらっしゃる上田順子先生をお招きしました。上田先生は、ご自身の体験を通して、看護師が目指すもの、管理栄養士が求められるもの、そして専門職業人として大切なこととお話くださいました。学生からは、「多職種の人と同じ学校で学ぶということは、将来

病院などで働くうえで、非常に恵まれた環境であるのだと思いました。」「自分の目指す職のあり方を再認識しました。」などの感想が寄せられました。

また、講演終了後、看護学科2年次生を代表して、成田京香さんから今後に向けての決意表明があり、最後にセレモニーの記念として、学長から看護学科にはナースウォッチ、栄養学科にはクリップファイルの贈呈があり、閉式となりました。

午後からは全学年対象の保護者懇談会を開催し、各学科の学修状況の説明、個別懇談、就職・国試ガイダンスなどを実施しました。

平成30年度 札幌保健医療大学 Grow-up Ceremony





栄養学科の取り組み

01 レバンガ北海道 栄養サポートパートナー協定

2017年に栄養サポートパートナー協定を締結し、選手への個別栄養指導、食事管理講習会、試合後のお弁当デリバリーなどシーズンを通して栄養サポートを行いました。栄養学科の学生も、U-15の選手の栄養サポートに関わる身体計測や、食事管理講習会の準備、運営などに積極的に参加をしています。



02 商品開発

企業とのコラボレーション企画として、3年次生は和菓子・パンの専門店「もりもと」と道産食材を使ったお菓子の共同開発に取り組み、「風っ子 もちっこ あずきのこ」を販売しました。2年次生は札幌の伝統野菜「札幌黄」（たまねぎ）を使った油で揚げない焼きおかきを「北海道米菓フーズ」と開発し、1年次生は「ブルックスカレー」との共同開発でカレーパンを製作しています。



03 食育ボランティア

地域交流の一環として、NPO法人ニルスの会（医療法人社団豊生会）が主催する「地域食堂」にボランティアとして定期的に参加しています。子どもたちや高齢者を対象とした料理教室や、食育講話などを通して「食と栄養の大切さ」を伝える活動を行っています。



04 大学農場

大学敷地に隣接する農場では、札幌の伝統野菜を中心に、年間を通してさまざまな作物を育てています。育てた野菜を収穫し、調理・加工、提供することで管理栄養士の基礎となる「食」を「作る」ところから学ぶことができる環境になっています。収穫した野菜は調理実習などの授業や商品開発の材料として使われ、大学祭での模擬店でも使用しています。





学生支援について

本学は、学生一人ひとりが4年間の学修の積み重ねにより自己の目標を明確にして、生涯学習し続ける専門職業人の育成を目指しています。キャリア支援は、専門職業人として歩みだす関門である「国家試験対策支援」、そして卒業後のキャリア形成としての「進学・就職支援」を看護学科、栄養学科ともに学年進行に対応した活動を計画し、実施しています。

看護学科 進学・就職活動支援

三職種講演

11月に看護学科1年次生を対象にした「三職種講演」を行っています。

この講演会は、学生が看護職（看護師、保健師、助産師）として活躍されている先輩の話を聴き、自身の将来の方向性、就職を選択するための一助となるよう毎年開催しているものです。昨年度は、2018年11月8日（木）に開催され、看護職三種の方々をお招きしました。また、看護師と保健師は、本学を卒業した第2期生の2名を招き、看護師、保健師を目指したきっかけや現在の業務内容、やりがいや大学の勉強について卒業生ならではの視点でお話いただきました。



学内就職説明会・就職ガイダンス

全学年を対象とした学内就職説明会を11月3日に開催し、札幌市内の病院を中心に21施設にお越しいただきました。当日は140名を超す学生が参加し、終了間際まで各ブースを積極的に訪問し、熱心に説明を聞いていました。5月には3、4年次を対象とした保健師就職説明会も開催。また、3年次には面接マナー講座のほか、履歴書・ESガイダンスを実施し、4年次の就職活動に備えます。



国家試験対策支援

2年次より、学生の中から国家試験対策委員を募り、学生主体で低学年模擬試験を実施し、3年次には業者による国家試験ガイダンスを行い、11月に模擬試験、1月～3月はDVD講座を開催します。3月には外部業者による補講を実施します。4年次は計7回の模擬試験の実施と外部業者による補講を行い、国家試験対策担当教員とともに2月の国家試験合格を目指します。



栄養学科 進学・就職活動支援

公務員ガイダンス・就職ガイダンス

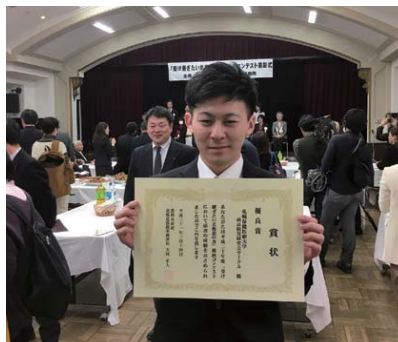
外部講師をお招きした公務員ガイダンスや、企業ガイダンスを行います。また、就職サイトの活用講座や接遇マナー講座など本格的な就職活動を前に、低学年時に就職活動に関する講座を開催します。3年次には自己分析、履歴書・ESガイダンス、小論文講座等の対策講座を実施。4年次の就職活動本番に備えます。

国家試験対策支援

1、2年次に過去問模擬試験にチャレンジし、合格ラインに達するまで再テストを実施しています。3年次には国家試験対策講座を実施し、過去の国家試験問題に取り組みます。また、10月、1月に模擬試験を受験します。4年次には、管理栄養士論総合演習のなかで、国家試験対策講座を開催します。全6回の模擬試験と外部講師による補講を実施します。

クラブ活動報告

本学では、人間力のある医療人の育成を目指しており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。学生たちの自主的な活動により、現在、体育系4団体、文化系5団体の同好会・愛好会が活動しています。



商品開発研究会

代表：加藤 優月

現在20名のメンバーで、週1回お昼休みに新メニューの試作を行っています。昨年は大学農場で栽培した札幌の伝統野菜を使ったレシピを考案し、デパ地下の総菜専門店で商品化されました。今年は地元企業と共同開発を行っていたパンの商品化や、和菓子開発にも取り組んでいます。



スポーツ栄養サークル

代表：田伏 加奈

スポーツ栄養を実践的に学ぶサークルで、現在25名が所属しています。疲労回復効果のあるドリンクレシピを考案し、レバンガ北海道ユースチームに提供したり、様々なレシピを考案中です。また、今年からは北海道スポーツ専門学校サッカー部とコラボし、食育や栄養指導を実践しています。



食育ボランティア

代表：東 恒輝

イベントなどに参加し、多くの人に「食」への興味を持ってもらうことを目標としているサークルです。ボランティア活動は人前で話す力をつけてくれる他、これから役に立つことが多いです。栄養・看護の学科問わず、食べ物に興味がある方や、ボランティアをしたい方がいましたらいつでも大歓迎です。



軽音楽

代表：佐藤 麻結

歌いたい人、楽器を弾きたい人はいつでも大歓迎！日々の練習の成果を、大学祭でステージ発表しています。2018年は4グループで2曲ずつ披露しました。



看護技術向上委員会

代表：平尾 亜梨加

身につけた看護技術を地域のお祭りやイベントで提供しています。地域の方々と触れ合うことで学べるがたくさんあります。

バレーボール

代表：後藤 海星

約60名が所属している数あるサークルの中でも大所帯のバレーボール部です。人数が多く、活気があり、週に一度体育館でゲームを中心に活動しています。興味のある人は、ぜひ参加してください！

フットサル

代表：藤岡 彩羅

経験者はもちろん、未経験者も大歓迎！先輩後輩、男女の垣根なく、ミニゲームを通して楽しんでいます。

卓球

代表：田中 愛里

ラリーをしたり、個人の弱点や目標に合わせた練習をしています。練習の最後にはゲームをしてみんなで楽しく活動しています。

バドミントン

代表：木村 七海

楽しいことをモットーに活動しています。先輩・後輩との仲もよく、アットホームな雰囲気が自慢のサークルです。

看護学科3期生の国家試験結果と就職状況

◎第3期生国家試験結果



第108回看護師国家試験は、
本学から103名が受験し100名が合格しました。

本学合格率

97.1%

新卒全国平均94.7%

第105回保健師国家試験は、
本学から14名が受験し14名が合格しました。

本学合格率

100%

新卒全国平均88.1%

◎卒業生の主な就職先

看護師

【札幌市内】北海道大学病院／札幌医科大学病院／国立病院機構北海道医療センター／市立札幌病院／JA札幌厚生病院／JCHO北海道病院／KKR斗南病院／NTT東日本病院／手稲溪仁会病院／札幌徳洲会病院／札幌東徳洲会病院／東札幌病院／札幌北楡病院／札幌白石記念病院

【北海道内】北海道立羽幌病院／江別市立病院／市立千歳病院／小樽協栄病院／富良野協栄病院／町立中標津病院／八雲町立病院
【北海道外】[東京都] 東京女子医科大学病院／東邦大学医療センター大森病院／東京都済生会中央病院／板橋中央病院 [千葉県] 順天堂大学附属浦安病院／東京歯科大学市川総合病院／千葉中央メディカル・センター [大阪府] 大阪府済生会吹田病院

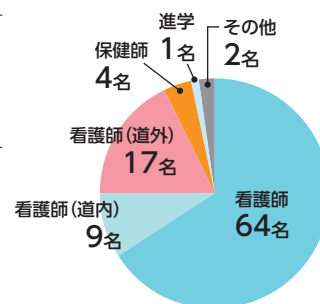
保健師

北海道(道立保健所)／寿都町／八雲町

進学

札幌市立大学助産学専攻科

卒業生の職種等進路
(2018)



2018年度 入試結果

入試区別志願者・受験者・合格者・入学者数

看護学科							栄養学科								
入試区分		募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者※	倍率	入試区分		募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者※	倍率
推薦		45	47	47	45	44	1.1	推薦		35	15	15	15	15	1.0
一般	前期	40	209	195	86	43	2.3	総合型	前期	3	7	7	7	6	1.0
	後期	5	21	20	6	7	3.3		後期	2	3	3	3	3	1.0
センター	前期	5	127	127	51	7	2.5	一般	前期	25	22	22	21	10	1.0
	中期	3	13	13	4	0	3.3		後期	5	1	1	1	0	1.0
	後期	2	7	7	6	3	1.2	センター	前期	5	34	34	31	2	1.1
合計	100 424 409 198 104 2.1						中期		3	0	-	-	-	-	
							後期		2	0	-	-	-	-	
合計		80	82	82	78	36	1.1	栄養学科編入学		募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
										若干名	4	4	4	4	1.0

※入学者には追加合格を含む

学事暦(年間行事)

4月	入学式／新入生歓迎会
----	------------

*入学者には追加合格を含む

学事暦(年間行事)

4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会／栄養学科オープンキャンパス 看護学科3、4年次臨地実習開始
6月	栄養学科3年次臨地実習／オープンキャンパス
7月	看護学科1年次看護基礎実習I／栄養学科オープンキャンパス
8月	前期定期試験／オープンキャンパス
9月	前期学位記授与式／栄養学科オープンキャンパス
10月	大学祭／オープンキャンパス
11月	グローアップセレモニー／保護者懇談会 看護学科2年次看護基礎実習II
12月	冬期休暇
1月	
2月	後期定期試験
3月	学位記授与式／オープンキャンパス

編集後記

2019年3月に看護学科は開設から丸6年を終え、栄養学科の新設とそれともなう看護学部から保健医療学部への学部名変更後も2年が経過しました。看護学科の3期卒業生(103名)は、看護師国家試験合格率(97.1%)、保健師国家試験合格率(100%)と、1期生、2期生に並び好成績を収め、それぞれの希望の道を歩み始めました。栄養学科は、未だ1期生が3年に進級したばかりですが、管理栄養士国家試験受験対策に積極的に取り組んでいます。

この「Will」では、看護学科と栄養学科を備える保健医療学部として、特徴ある正課内外の教育活動や学生の様子についてご紹介します。多くの皆様にご高覧いただけると幸いです。